

2年目 小中一貫教育 ● 連載 No.22 ●

## 児童生徒の工夫で広がる 一貫校ならではの連携行事

～平成26年の実践から～



■問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-12227

### 小中一貫校 東原庁舎 中央校

「夢に向かって生き生きと輝く児童生徒の育成」

#### ○生徒が児童に本の紹介

中学部生徒会図書揭示部では、児童の読書活動を活発にしようとして5・6年生にお勧めの本を紹介したり、小学部教室で読み聞かせを行ったりと、自主的に活動しています。

図書揭示部の取り組みを通じて5・6年生は「おもしろそう、読んでみよう」、「小学部図書室にもあるかな」など、目を輝かせて本の紹介に聞き入っていました。



▶ 中学部生徒による本の紹介

#### ○ふれあい昼休み

これまで実施してきた小学部と中学部の交流学級の「ふれあい給食」がさらに発展し、新たに「ふれあい昼休み」が始まりました。



▲ 体育館でのドッジボール

体育館でのドッジボールでは、生徒から児童へゆっくりとパスしたり緩やかなボールを投げたりしながら、5年生は、9年生の胸を借り、笑顔で走り回っていました。今回のイベントは児童生徒にとって楽しい昼休みとなりました。

### 1月の定例教育委員会のお知らせ

日時 1月15日(木) 13時30分

場所 市役所 第2委員会室(自由に傍聴できます)

■問い合わせ 教育委員会 教育総務課 ☎75-13450

### 小中一貫校 東原庁舎 東部校

「思いやりの心を持ち、学ぶ意欲に満ちた児童生徒の育成」

#### ○全校クリーン作戦

前期ブロック(1～4年生)はグラウンドや遊具周辺、さらには旧納所小に出かけて清掃活動を行いました。



▶ 児童が集めたごみ

中期・後期ブロック(5～9年生)は学校周辺で地域の清掃活動を行いました。このような小・中学部が一体となって班活動を行う「縦割り班活動」を通じて、児童生徒の絆がさらに深まりました。また、地域ボランティア活動の中で、生活マナーの向上・ごみの減量化・リサイクル活動の取り組みなど、一人一人が考えるきっかけにもなっています。

#### ○全校スポーツ大会

本年度初めて児童生徒の発案で「全校スポーツ大会」を開催しました。種目は、縄跳び競技。縦割り班で構成した各チームは早速練習を開始。生徒が優しく回してくれる大縄に、児童がリズムを取りながら順番に跳んでいきます。



▶ 大縄跳び挑戦の様子

大会当日は、練習の成果を十分に発揮して、どの縦割り班も、児童と生徒がともに心を一つにして大縄に挑戦しました。

### 小中一貫校 東原庁舎 西溪校

「自信と誇りを持ち、自ら学び、心豊かにたくましく生き抜く西溪っ子の育成」

#### ○小中一貫教育研究発表会で「腰鼓」を披露

11月に開催された多久市小中一貫教育研究発表会には、市内の全教職員、また、県内外から多くの教職員が参加しました。発表会では、小中一貫教育2年目の学校づくりや授業実践が提案され、大きな評価をいただきました。



▶ 腰鼓を披露する児童

当日は、全体会の冒頭で、児童が「腰鼓」を披露し、地域伝統を大切に守っている児童生徒の頑張り、太鼓や踊りの素晴らしい演技に大きな拍手をいただきました。「腰鼓」は毎年6年生から5年生に良き伝統としてしっかりと受け継がれています。

#### ○文化発表会「テーマ「絆」」

以前は、中学校行事だった「文化発表会」。一貫校となり児童も参加し、新たな行事として生まれ変わりました。全校児童生徒による「全校合唱」も行われ、一体感のあるハーモニイを奏でました。また、5・6年生も、ステージ発表を行うなど、内容も工夫されています。生徒の寸劇・ダンス等、児童の目は輝き、その演技や発表に見入って大きな拍手を送りました。



▶ 全校合唱の様子

各一貫校ならではの生徒会活動や学校行事にスポットを当てた今月号。まとまりのある学校生活につながる行事や、学校の伝統を先輩から後輩に継承する活動など、一貫校のまとまりを活かした様子が垣間見える内容でした。